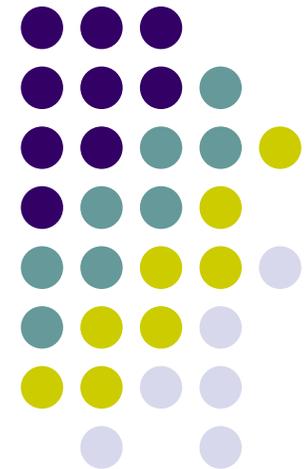


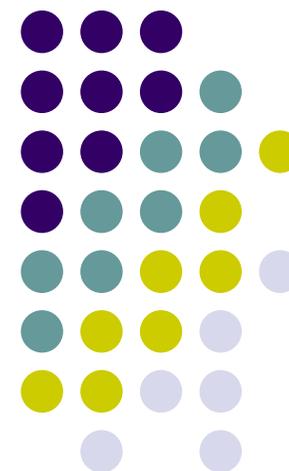
# 東京ガス株式会社 2008年度 決算説明会

代表取締役社長 鳥原光憲

2009年4月28日



# 連結決算概況



# 2008年度 決算ハイライト



- 前年同期比 増収減益
- TG単体：ガス粗利増・固定費増

	2008年度	2007年度	増減
都市ガス販売量 (45MJ/m <sup>3</sup> )	139.4億m <sup>3</sup>	142.2億m <sup>3</sup>	▲2.8億m <sup>3</sup>
売上高	16,601億円	14,874億円	+1,727億円
営業利益	652億円	700億円	▲48億円
経常利益	583億円	668億円	▲85億円
当期純利益	417億円	424億円	▲7億円
営業CF	1,827億円	1,849億円	▲22億円
ROA	2.4%	2.5%	-
ROE	5.4%	5.4%	-
TEP (WACC)	▲48億円 (3.4%)	17億円 (3.6%)	▲65億円

(注) ROA=当期純利益/総資産(期首・期末平均)  
 ROE=当期純利益/株主資本(期首・期末平均)  
 営業キャッシュフロー=当期純利益+減価償却費(長期前払費用償却費含む)  
 TEP=税引後・利払前利益-資本コスト  
 (有利子負債コスト+株主資本コスト)

経済 フレーム	原油価格	為替	気温
FY08	\$90.51/bbl	100.71円/\$	16.6°C
FY07	\$78.72/bbl	114.44円/\$	16.6°C

# 2008年度の経営環境



## 米国金融危機に端を発した経済不況

- 景気影響による工業需要向けガス販売量が急減  
下期ガス販売量：一般工業用(発電除く)は前年同期11.7%減

## 経済フレームの急激な変化(原油価格・為替)

- 原油価格の急騰(上期) ⇒ スライド差増大による収益悪化
- 原油価格の急落・円高(下期) ⇒ スライド差の大幅改善
- LNG価格の油価感応度の上昇

## 環境保全への更なる社会要請の高まり

- 京都議定書第一約束期間の開始

# 2008年度 主な取り組み



## 【総合エネルギー事業の進化・発展】

### ➤ 持続的成長への布石

- ◆ 新規ガス開発量：約7億m<sup>3</sup>(単体)
- ◆ エネファーム(家庭用燃料電池)  
⇒09年度本格商用化(1,500台販売)へ準備完了
- ◆ 電力事業の拡大：川崎天然ガス発電運転開始  
(2基：80万kW 当社持分 40万kW)

# 2008年度 主な取り組み



## 【総合エネルギー事業の進化・発展】

### ➤ ガス事業の基盤強化

#### ◆ ライフバルの着実な立ち上げ

27ブロック(24社) 設立 (09年4月現在、50ブロック・35社)

#### ◆ 供給能力増大のための幹線投資：中央幹線Ⅰ期供用開始

#### ◆ 保安対策強化

経年管対策・安全消費機器への取替加速化

#### ◆ スライド短縮化による原料費変動の収支影響緩和

大口分野：08年度～ 規制分野：09年5月～

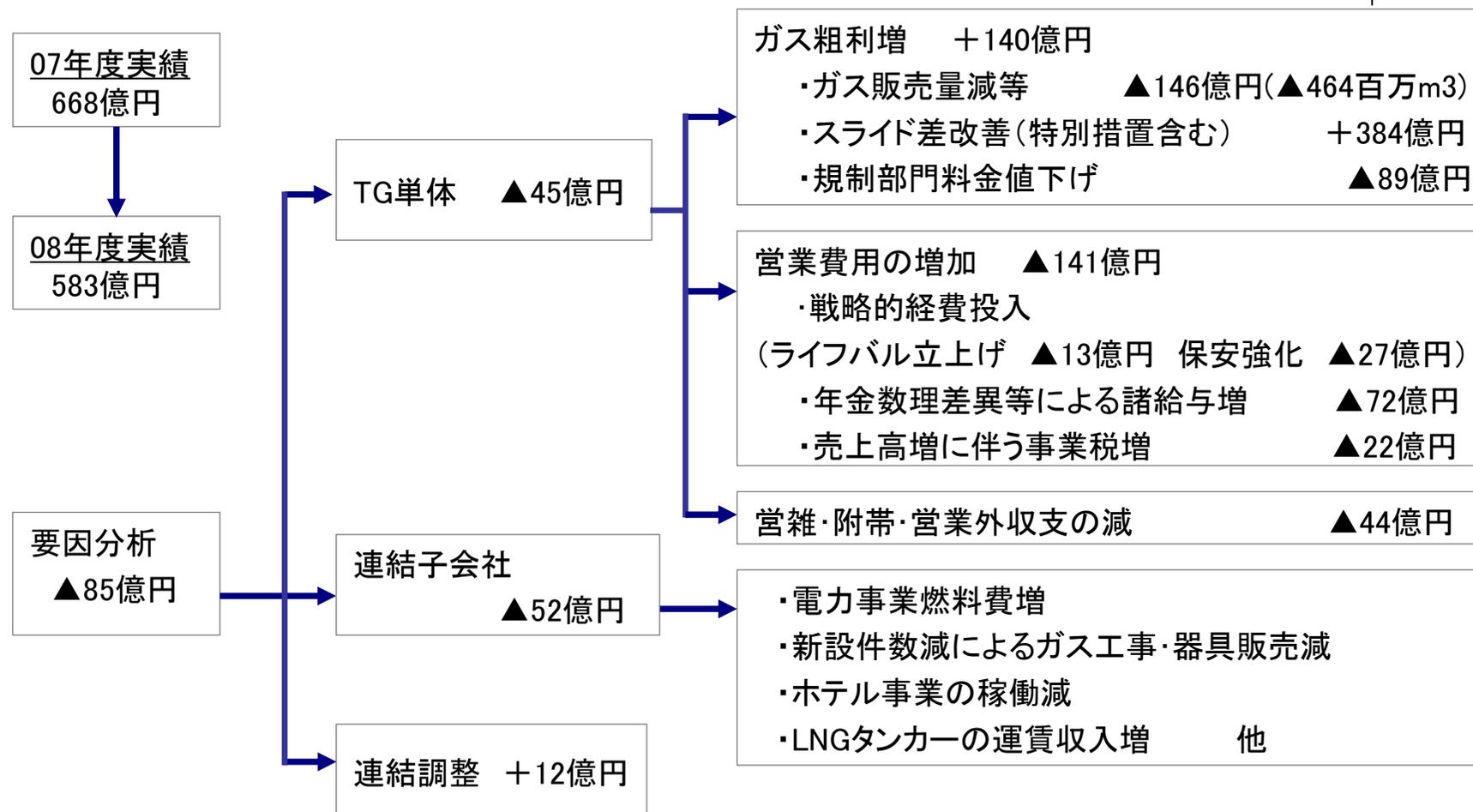
#### ◆ LNG輸送事業の拡大による長期的輸送コスト低減

(第6番船就航)

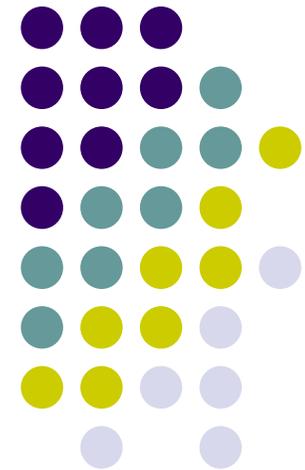


# 2008年度 経常利益

## 対前年同期比 要因分析



# 2008年度決算 事業の概況



# セグメント別 売上高・営業損益



(億円)

	売上高		営業利益	
	FY08	FY07	FY08	FY07
ガス	12,575(+1,705)	10,870	1,108(▲ 8)	1,116
ガス器具	1,223( ▲100)	1,323	20(▲ 9)	29
受注工事	490( ▲ 83)	573	▲10(▲18)	8
不動産賃貸	356( + 5)	351	74(▲ 5)	79
その他	3,637( + 434)	3,203	134( + 7)	127
合計	18,284(+1,962)	16,322	1,327(▲34)	1,361
消去又は全社	▲1,682( - )	▲1,447	▲675( - )	▲660
<b>連結</b>	<b>16,601(+1,727)</b>	<b>14,874</b>	<b>652(▲48)</b>	<b>700</b>

(注) ( ) 内は前年同期増減

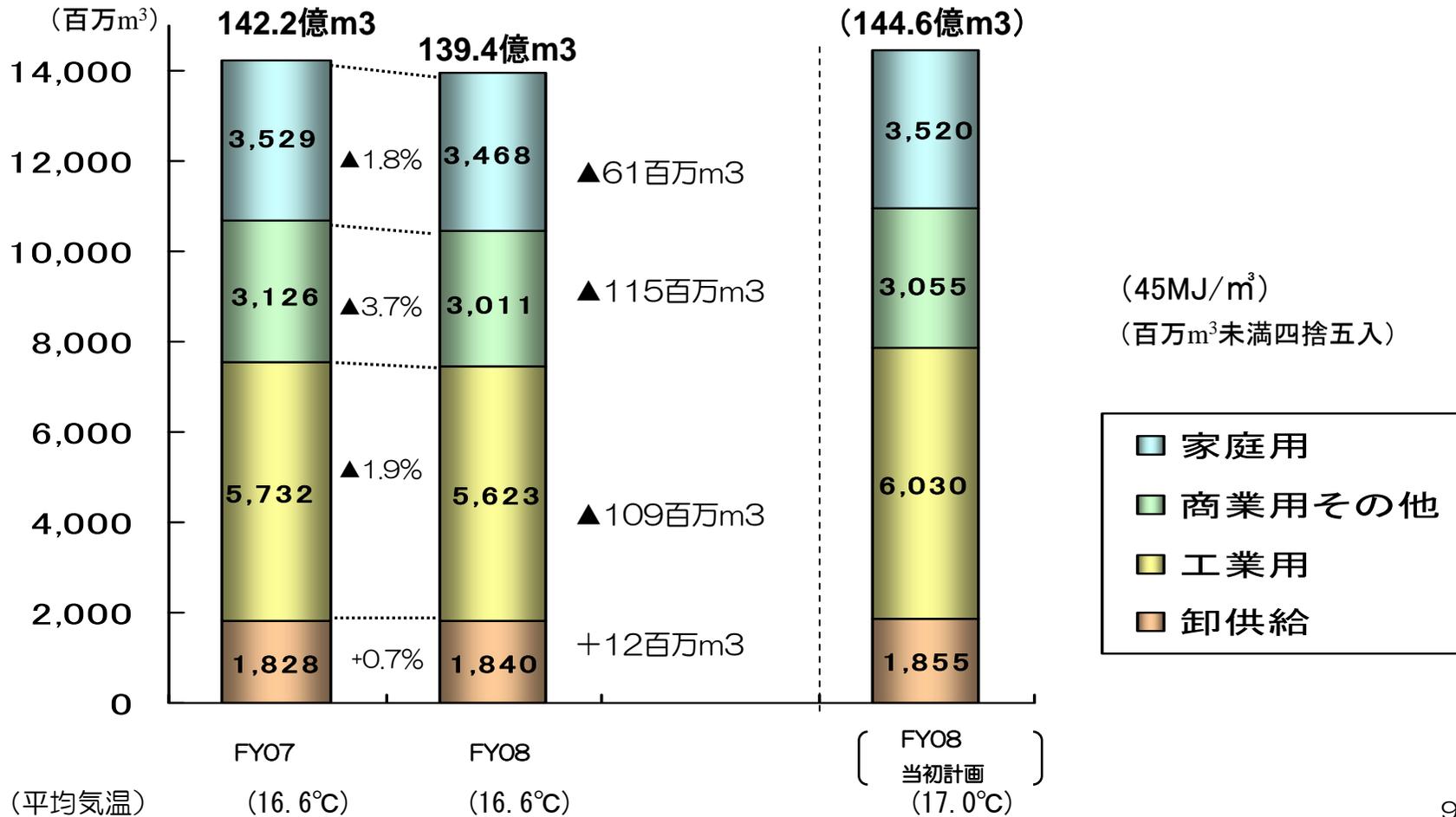
セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

# ガスセグメント



売上高 12,575億円(+ 1,705億円 +15.7%) 営業利益 1,108億円(▲ 8億円 ▲0.7%)

＜連結ガス販売量＞ 前期比 ▲1.9%(▲273百万m<sup>3</sup>)



# 工業用ガス販売量

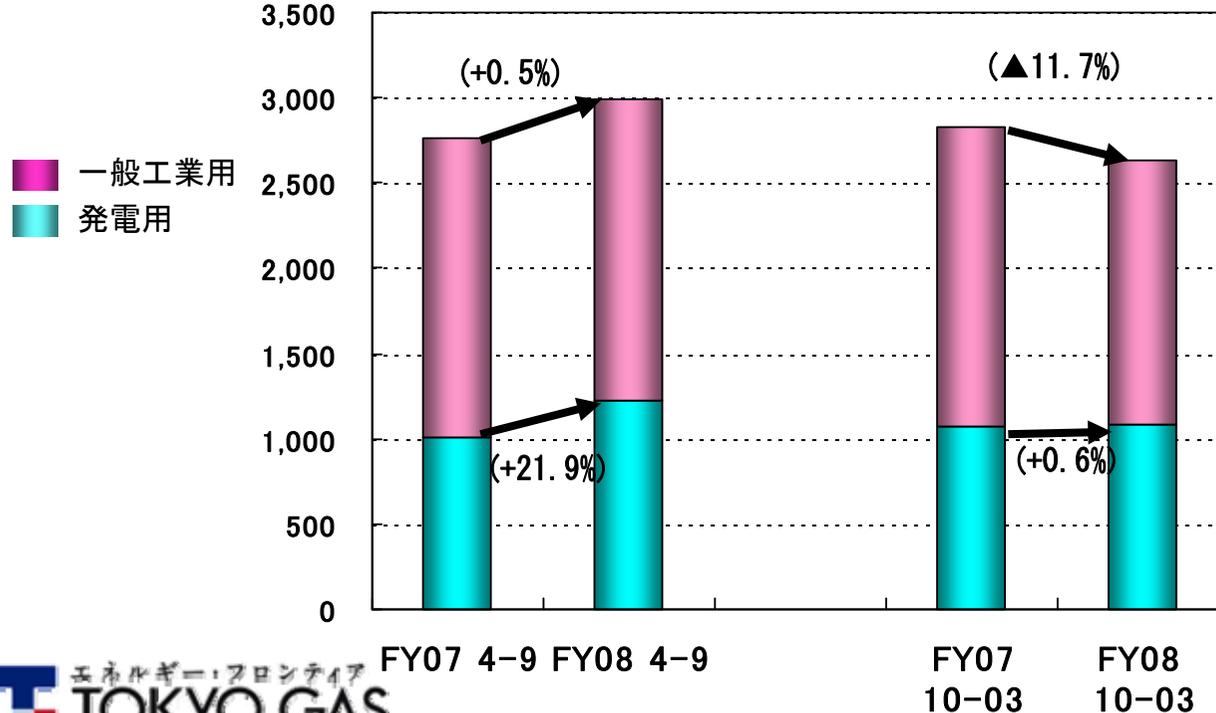


工業用 5,623百万m<sup>3</sup> (▲109百万m<sup>3</sup> ▲1.9%)

- 一般工業用（発電用以外）  
 (上期) +9百万m<sup>3</sup> (+0.4%)  
 (下期) 景気低迷を受け、鉄鋼・機械・化学等の落ち込み ▲344百万m<sup>3</sup> (▲11.7%)
- 発電用  
 (上期) 既存IPP・PPS稼働増、新規発電所稼働 +220百万m<sup>3</sup> (+21.9%)  
 (下期) 既存IPP定修・電力需要減による稼働減等 +7百万m<sup>3</sup> (+0.5%)

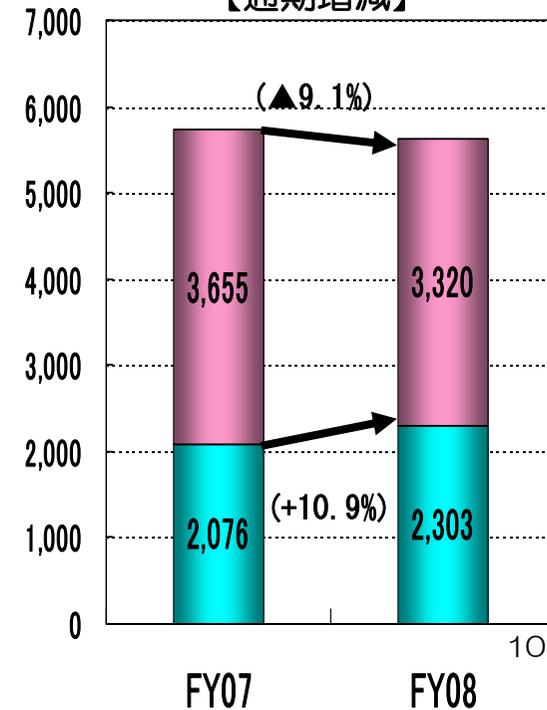
(百万m<sup>3</sup>/45MJ)

【半期増減】



(百万m<sup>3</sup>/45MJ)

【通期増減】



# 家庭用ガス販売量



家庭用 3,468百万m<sup>3</sup> (▲61百万m<sup>3</sup> ▲1.8%)

▶ 気温影響による暖房・給湯需要の減少 ▲46百万m<sup>3</sup> (▲1.3%)
 ▶ お客さま数の増加 +53百万m<sup>3</sup> (+1.5%) (万件)

▶ その他差異 ▲67百万m<sup>3</sup> (▲1.9%)  
 機器の省エネ効果、住宅の高気密化等

	08年度	07年度	増減
新設件数(単体)	21.2	25.7	▲4.5
需要家件数	1,051	1,038	+13

## 新築オール電化率 (単体)

	08年度	07年度	増減
新築オール電化率	12%	11%	+1%

平均気温 (°C)	08年度	07年度	差異
上期	22.1	22.6	▲0.5
下期	11.1	10.6	+0.5
年度	16.6	16.6	0

## 主要機器の販売状況 (単体)

(台)	08年度	07年度	増減
ピピッとコンロ	86,980	74,946	12,034
エコジョーズ	72,164	74,693	▲2,529
ミストサウナ	18,239	18,441	▲202
マイホーム発電※	4,156	4,278	▲122

※エコウィル、エネファーム (燃料電池)

# 商業用その他 ガス販売量

商業用その他 3,011百万m<sup>3</sup>  
(▲115百万m<sup>3</sup> ▲3.7%)

- ▶ 気温・日数影響による  
空調需要の減  
▲99百万m<sup>3</sup> (▲3.1%)
- ▶ 件数差異  
+68百万m<sup>3</sup> (+2.2%)  
(大口物件稼働)
- ▶ その他差異  
▲84百万m<sup>3</sup> (▲2.6%)

# 卸ガス販売量

卸供給 1,840百万m<sup>3</sup>  
(+12百万m<sup>3</sup> +0.7%)

- ▶ 卸供給先の新規需要開発および  
既存顧客の稼働増  
+4百万m<sup>3</sup> (+0.2%)
- ▶ 供給先事業者の増加  
+8百万m<sup>3</sup> (+0.5%)  
野田ガス07年8月～  
館林ガス07年11月～



# 非ガスセグメント 対前年増減要因



- **ガス器具(売上高 ▲100億円 営業利益 ▲9億円)**  
新設件数減・既存のお客様の買い控えによる売上・利益減
- **受注工事(売上高 ▲83億円 営業利益 ▲18億円)**  
建設不況・着工許可件数減による売上・利益減
- **不動産賃貸(売上高 +5億円 営業利益 ▲5億円)**  
建物賃貸増による売上増、本社ビル集約による費用増
- **その他(売上高 +434億円 営業利益 +7億円)**  
エネルギーサービス事業：新規物件増による売上増  
電力事業：川崎天然ガス発電による売上増・燃料高騰による利益減  
船舶：船舶数増等による運賃収入増・利益増

# 2008年度の株主配分について



## 【配当】

- ・ 1株あたり8円配当を維持

8.0円/株

## 【自社株取得】

- ・ 09年度の自社株取得額

50億円（15百万株）

## 【総分配性向】

- ・ 08年度の総分配性向は **63%** (中計目標 6割)

$$\begin{array}{l} \text{総分配性向} \\ 63\% \end{array} = \frac{\begin{array}{l} \text{08年度配当額} \\ 214\text{億円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{09年度自社株取得額} \\ 50\text{億円} \end{array}}{\text{08年度連結当期純利益 : 417億円}}$$

# 2009年3月末 B/S対前年増減要因



(資産の部)

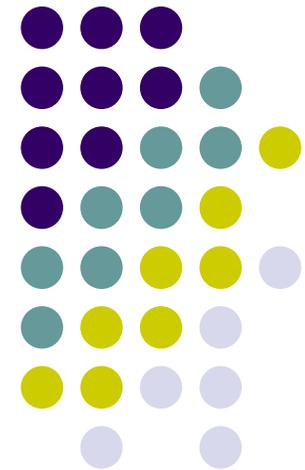
(億円未満切捨て)

	09年3月末	08年3月末	増減	増減要因
有形・無形固定資産	11,369	11,473	▲104	設備投資+1,459 償却▲1,410
投資等	2,151	2,290	▲139	投資有価証券▲222 他
流動資産	4,121	3,272	+849	リース債権及びリース投資資産+255
合計	17,641	17,036	+605	

(負債/純資産の部)

	09年3月末	08年3月末	増減	増減要因
有利子負債	5,932	5,587	+345	新規長期借入金+811 返済▲310 08年度転換社債償還▲281
その他負債等	3,863	3,645	+218	
純資産	7,846	7,804	+42	利益剰余金▲31 有価証券評価差額▲205 為替換算調整勘定▲140 自己株式+404
合計	17,641	17,036	+605	

# 2009年度 連結収支見通し



# 2009年度 収支計画



- 08年度比：減収増益
  - TG単体：ガス販売量減・粗利改善
- 戦略経費投入による固定費増

	2009年度計画	2008年度実績	増減
都市ガス販売量 (45MJ/m <sup>3</sup> )	134.7億m <sup>3</sup>	139.4億m <sup>3</sup>	▲4.7億m <sup>3</sup>
売上高	13,810億円	16,601億円	▲2,791億円
営業利益	730億円	652億円	+78億円
経常利益	640億円	583億円	+57億円
当期純利益	420億円	417億円	+3億円
営業CF	1,910億円	1,827億円	+83億円
ROA	2.4%	2.4%	-
ROE	5.4%	5.4%	-
TEP (WACC)	▲1億円(3.4%)	▲48億円(3.4%)	+47億円

経済 フレーム	原油価格	為替	気温
FY09	\$50.0/bbl	100.0円/\$	16.9°C
FY08	\$90.5/bbl	100.7円/\$	16.6°C

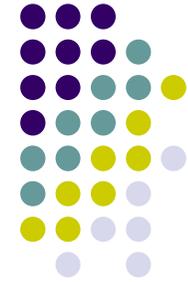
# 2009年度 主要課題



## 09-13年度中期計画初年度における主要政策の実行

<p>Eco-friendly (環境価値創造)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネファーム商業販売開始 &lt;1,500台販売&gt;</li> <li>・ 新エネルギー営業への取組み強化 &lt;戸建住宅向けW発電販売・集合住宅用太陽熱給湯システム商品化予定&gt;</li> </ul>
<p>Excellent Service (お客様価値向上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京ガスライフバル全ブロック立上げ &lt;2009年10月&gt;</li> <li>・ 保安対策強化 &lt;経年管・安全消費機器への取替加速&gt;</li> </ul>
<p>Expansion (市場深耕・拡大)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭用件数の増大 &lt;新設件数 約21万件&gt;</li> <li>・ 扇島パワー1号機立上げ 40万kW &lt;2010年3月&gt;</li> <li>・ 新規ガス需要開発量計画 &lt;約4億m<sup>3</sup>&gt;</li> </ul>
<p>LNG バリューチェーン強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プルートプロジェクトの立上げ準備</li> <li>・ LNG船(7番船) 就航</li> <li>・ 扇島工場4号タンク建設開始</li> <li>・ 群馬幹線 I 期供用開始</li> </ul>
<p>オールTG総合力強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田町用地開発事業の開始</li> </ul>

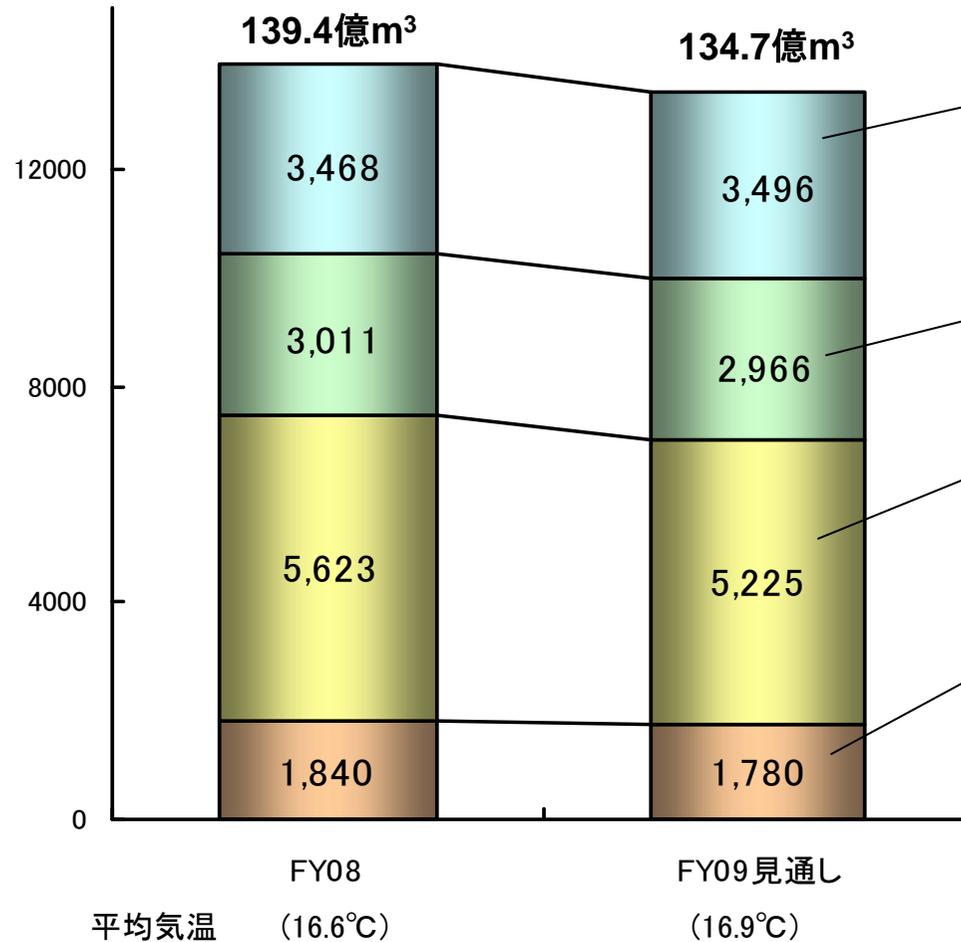
# 2009年度 ガス販売量見通し



前年比 ▲3.4% (▲476百万m<sup>3</sup>)

(百万m<sup>3</sup> / 45MJ)

<FY08実績 →今回見通し>



家庭用 +0.8% (+28百万m<sup>3</sup>)

- ・お客さま件数の増 (+13万件)
- ・省エネ器具普及等によるPM減

商業用その他 ▲1.5% (▲45百万m<sup>3</sup>)

- ・景気影響・省エネ行動による販売量減

工業用 ▲7.1% (▲398百万m<sup>3</sup>)

- ・08年度第4Qの景気悪化影響が通期で継続

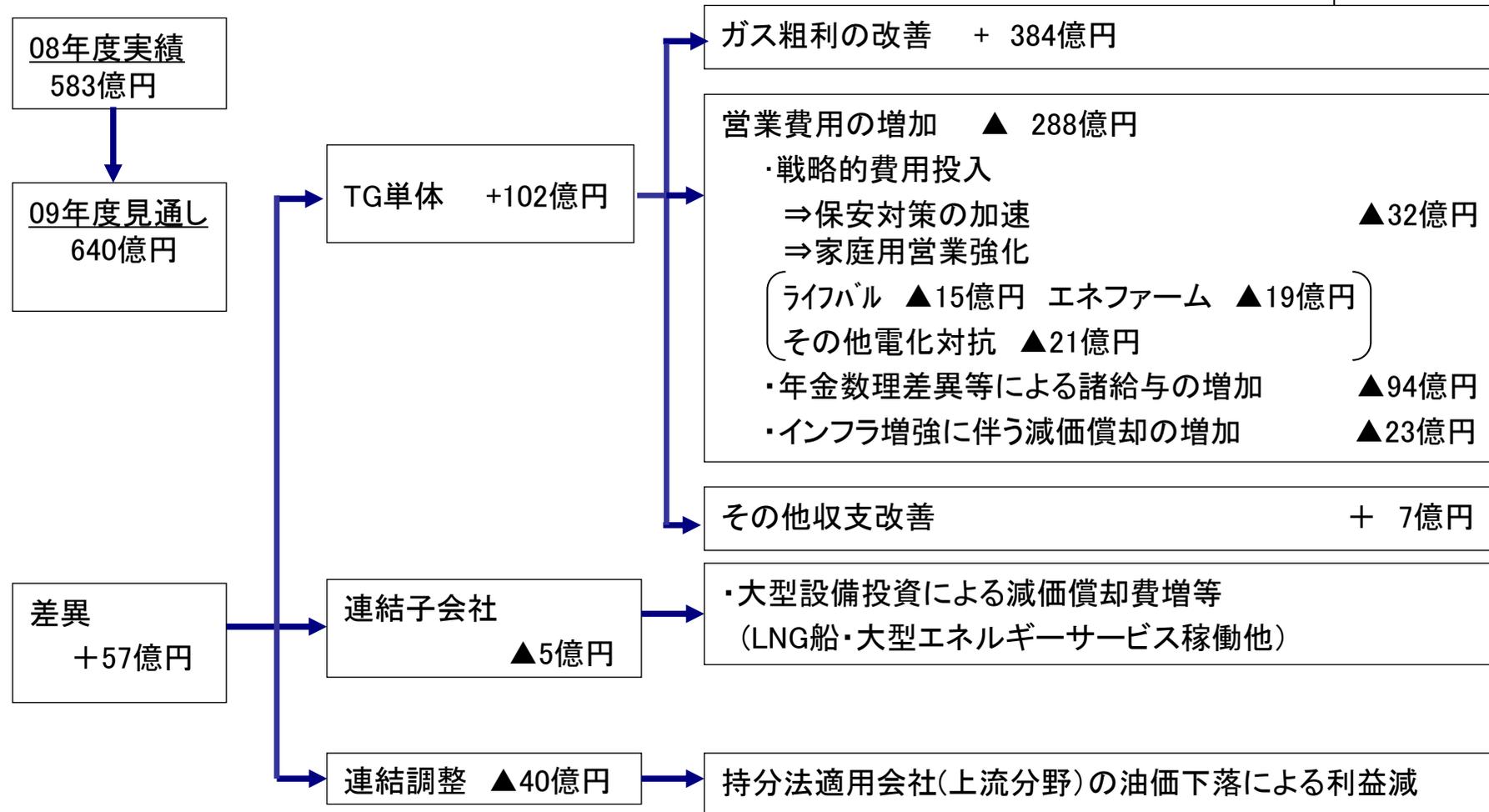
卸供給 ▲3.3% (▲60百万m<sup>3</sup>)

- ・卸供給先大口販売量減

(百万m<sup>3</sup>未満四捨五入)

# 2009年度 経常利益計画

## 対08年度比 要因分析



# 2009年度 CF投入見通し



設備投資	主な件名
東京ガス 1,212億円 (+147億円 +13.8%)	・製造設備:172億円(+84億円) 根岸工場BOG設備、扇島工場タンク等
	・供給設備:813億円(▲18億円) 需要本支管、供給管新設、千葉・鹿島ライン、 既存ガス管の入取替 等
	・業務設備等:227億円(+84億円) システム関連 等
連結子会社計:354億円 (▲68億円 ▲16.0%)	・東京LNGタンカー:LNGタンカー建造費 (▲25億円) ・エネルギーアドバンス:コージェネレーションシステム (▲13億円) 等
合計 1,510億円 (+51億円 +3.5% 内部消去後)	

※( )内は前年同期増減

- 投融資 : 908億円(上流事業・電力事業・ライフバル出資 等)
- 株主還元策 : 270億円 (総分配性向 6割を継続)

# 2009年度 資金計画



(億円)

所要資金		資金調達		
設備投資	1,510	自己資金	減価償却等	1,490
その他投融資*	840		経常利益	640
決算資金	460		その他	660
自社株取得	50		計	2,790
償還・返済 (単体分)	890 (680)	外部資金 (単体分)		960 (880)
計	3,750	計		3,750

有利子負債残高：08年度末 5,932億円 09年度末 6,010億円

注：年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれておりません。

\*：その他投融資は、投入金と融資金返済による相殺後です。

# 主要経営指標



	TEP(WACC)	営業CF	ROA	ROE	D/E レシオ
FY08	▲48億円 (3.4%)	1,827億円	2.4%	5.4%	0.77
FY09	▲1億円 (3.4%)	1,910億円	2.4%	5.4%	0.76
中計 FY13 目標	180億円 (3.8%)	09～13累計 10,600億円	3.7%	7.7%	0.69

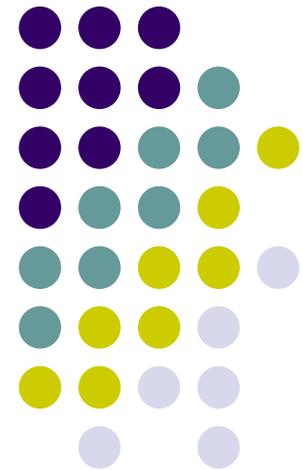
(注) ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均)

ROE=当期純利益／株主資本(期首・期末平均)

営業キャッシュフロー=当期純利益+減価償却費(長期前払費用償却費含む)

TEP=税引後・利払前利益－資本コスト(有利子負債コスト+株主資本コスト)

# 参考資料



# 2009年度 セグメント別売上高・営業損益見通し

(億円)

	売上高		営業利益	
	FY09見通し	FY08実績	FY09見通し	FY08実績
ガス	10,141 (▲2,434)	12,575	1,310 ( +202)	1,108
ガス器具	1,316 ( +93)	1,223	12 ( ▲8)	20
受注工事	508 ( +18)	490	▲3 ( +7)	▲10
不動産賃貸	342 ( ▲14)	356	70 ( ▲4)	74
その他	2,938 ( ▲699)	3,637	110 ( ▲24)	134
合計	15,245(▲3,039)	18,284	1,499 ( +172)	1,327
消去又は全社	▲ 1,435 ( - )	▲1,682	▲769 ( - )	▲675
連結	13,810 (▲2,791)	16,601	730 ( +78)	652

(注) ( ) 内は前年同期増減

セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

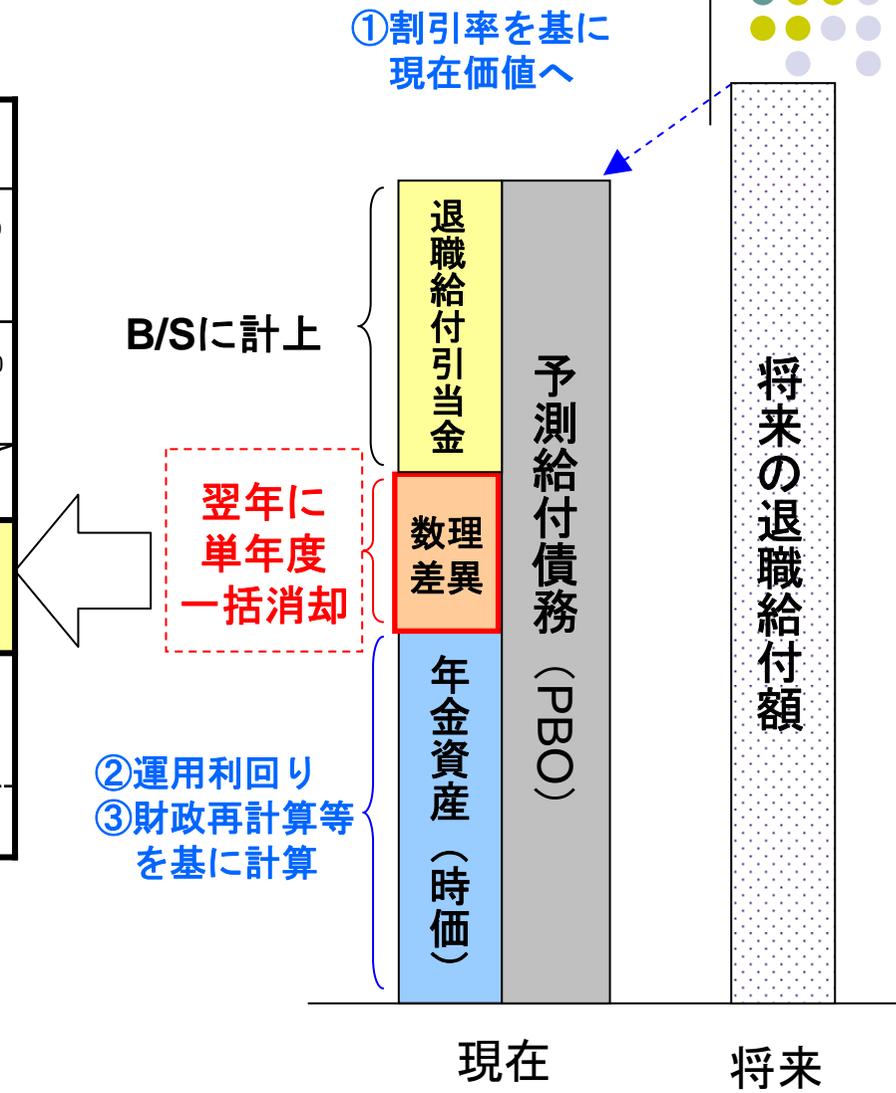


# (参考) 年金制度と 単体人件費への年金数理差異償却額の影響について



	08年度	09年度
割引率 (前年差異)	1.8% (0)	1.8% (0)
期待運用利回り (a) (*)	2.0%	2.0%
実運用益 (b)	▲11.45%	
数理差異 ((a) - (b))	320億円 (▲13.45%)	
償却額 (前年度数理差異額)	204億円	320億円
対前年償却額増減		+116億円

(\*) 手数料コスト等除く



# 主要計数表 ①

(億円未満切捨て)



	FY07 実績	FY08 実績	FY09 見通し	FY08実績 対 FY07実績	FY09見通し 対 FY08実績
売上高	14,874	16,601	13,810	+1,727	▲2,791
営業利益	700	652	730	▲48	+78
経常利益	668	583	640	▲85	+57
当期純利益	424	417	420	▲7	+3
EPS(円)	15.94	15.63	15.48	▲0.31	▲0.15
TEP	17	▲48	▲1	▲65	+47
ガス販売量 (百万m <sup>3</sup> ,45MJ/m <sup>3</sup> )	14,215	13,942	13,466	▲273	▲476
原油 (\$/bbl)	78.72	90.51	50.00	+11.79	▲40.51
為替 (円/US\$)	114.44	100.71	100.00	▲13.73	▲0.71
気温 (°C)	16.6	16.6	16.9	0	+0.3

# 主要計数表②

(億円未満切捨て)



	FY07 実績	FY08 実績	FY09 見通し	FY08実績 対 FY07実績	FY09見通し 対 FY08実績
総資産(a)	17,036	17,641	17,910	+605	+269
自己資本(b)	7,690	7,723	7,870	+33	+147
自己資本比率(b)/(a)	45.1%	43.8%	43.9%	-	-
有利子負債残高	5,587	5,932	6,010	+345	+78
営業キャッシュフロー (c)+(d)	1,849	1,827	1,910	▲22	+83
当期純利益(c)	424	417	420	▲7	+3
減価償却(d)	1,424	1,410	1,490	▲14	+80
設備投資	1,380	1,459	1,510	+79	+51
ROA : (c) / (a)	2.5%	2.4%	2.4%	-	-
ROE : (c) / (b)	5.4%	5.4%	5.4%	-	-
総分配性向	74%	63%	-	-	-

(注) ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／株主資本(期首・期末平均)  
 EPSの分母は期中平均株数  
 営業キャッシュフロー=当期純利益+減価償却費(長期前払費用償却費含む)  
 総分配性向=n年度配当+(n+1)年度の自社株取得/n年度の当期純利益

# 東京ガス株式会社

## ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価  
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東  
京ガスの対応等があります。

